

個人質問

議会事務局 処理欄	令和 3年 2月15日 8時30分 受付
	質問 順位 第 10 番

武豊町議会議員 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 鳥居 美和

一般質問の通告について

令和3年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 乳がん検診について</p>	<p>【趣旨説明】</p> <p>新型コロナウイルス感染症が世界に蔓延し、世界保健機構（WHO）がパンデミック宣言をしてから間もなく1年になります。また、日本でも、昨年4月に続き、2度目の緊急事態宣言が発令されています。</p> <p>このため、パンデミック以前の平穏な日常生活は一変し、コロナ禍での新しい生活様式に少しずつ慣れてきた様に思いますが、新型コロナウイルス感染症が収束するまで「自らの命を守り、そして、大切な人の命を守る」行動を常に心がける必要があります</p> <p>そこで、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、仕方なく本町においても「がん検診」の中止や日程の変更がありました。</p> <p>「がん」は昭和56年から死亡原因の第1位となっています。しかしながら診断と治療の進歩により、早期発見、早期治療が可能になりつつきています。このために、「がん検診」により「がん」を早期に発見することが「早期治療」につながることから極めて重要と言われております。</p> <p>厚生労働省の公表によると令和元年の「がん」による死亡者数は376,392人でした。そのうち女性の死亡者数で「乳がん」は5位ですが罹患者数は1位とのことです。「乳がん」は罹患者数、死亡者数ともに年々増加していて、日本人女性が生涯で「乳がん」に罹患する確率は9人に1人となっています。また、実際に「乳がん」の60%以上はセルフチェックによって発見され、更に早期発見で治療率は約90%にもなります。</p> <p>「乳がん」は早く小さいうちに見つければ、乳房を残すこともリンパ節をとることもなく治療することが望める「がん」です。</p> <p>このため、入浴やシャワー、着替えの時などに、気軽に自身の乳房の状態をセルフチェックすることで、「乳がん」の早期発見・診断・治療につながるため、自分の乳房に対する関心や意識を高める「ブレスト・アウェアネス」が大変重要といわれており、変化があった場合にはすぐに医療機関を受診するなどの適切な行動をとる必要があります。また、乳房の変化を意識することで、「乳がん検診」を定期的に受ける動機づけになります。</p> <p>そこで、本町における「乳がん検診」について以下3点の質問をさせていただきます。尚、答弁の内容によっては再質問させていただきます。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① 過去3年間の「乳がん検診」対象者の受診者数と受診率、要精密検査者数と要精密検査者率はどうか。</p> <p>② 平成26年3月議会で元公明党議員の加藤美奈子さんが「がん検診受診率向上に向けて国の制度の「コールリコール」が絶対に必要なので一過性ではなく定着を」との質問をされました。その後どのような対応をされていますか。</p> <p>③ 乳がんは30代から増加し始め40代後半から50代前半にピークと比較的若い世代で多いことから若い時AYA世代と言われる15歳から39歳の女性は特に関心を持つことが大事です。そこで、AYA世代から抵抗なくセルフチェックで早期発見に役立つ「検診キット」セルフチェックシートの配布についての考えはありますか。</p>